

平成27年度試験研究課題一覧

研究課題名	試験研究目的等
林業用優良種苗及び食用きのこの育種	森林の公益的機能や森林資源の充実のため、育種技術によりニーズに対応した造林用優良種苗を作出する。林業生産額の向上のため、付加価値の高い栽培用きのこの育成や簡易な栽培方法の開発を行う。
低コスト森林施業技術の高度化	増加傾向にある造林放棄地の削減のため、森林施業のコストの低減により収益性を高めていくことが重要であることから、低コスト森林施業技術の高度化などにより、伐採後の適切な再造林が行われるよう森林施業モデルづくりを進める。
次代検定林及び試験林等の調査管理事業	次代検定林や試験林の維持を図り、長期的な基礎的調査データの収集及び試験に必要な種苗の生産を行う。
十和田ほ場管理等育種種子生産事業	林業種苗法に基づく精英樹を主な母樹とした採種園・採穂園整備や造林用の優良種苗の生産配布を行う。
カラマツの花芽形成過程における分子生物学的特性の解明	カラマツは、主要な造林樹種の一つであり、近年、造林需要が増加しているものの、着花が不定期であり、種苗の安定供給が困難なため、カラマツの花芽形成における遺伝子の発現特性の解明などによる着花促進技術の開発を行う。
再造林推進のためのコンテナ苗生産方法の低コスト化事業費支出	森林の伐採、再造林を推進するために期待されているコンテナ苗について、生産コストを削減しつつ、従来のコンテナ苗と遜色ない育苗方法の確立を目指す。
マツ材線虫病などの森林病虫獣害発生予察調査事業	マツ材線虫病やナラ枯れ、ツキノワグマの剥皮被害など各種森林病虫獣害に関する被害状況の把握とデータ収集を行い、防除対策の検討・技術指導を行う。
松くい虫被害防止対策強化事業	松くい虫被害を防止するため、県と連携して加害生物のモニタリングや被害木の診断・調査等を行う。
ナラ枯れ被害防止対策事業	ナラ枯れ被害を防止するため、加害昆虫であるカンノナガキクイムシの生息状況等の調査を行う。
東日本大震災で被災した海岸林の復興技術の高度化事業	森林総研や関係機関と連携して、津波被害地の残存木、新規植栽木生育阻害要因の解明と維持管理手法を開発する。
海岸防災林再生クロマツ苗早期育成事業	津波で被災した海岸林防災林の再生に必要なクロマツコンテナ苗の生産・植栽技術を開発する。
東北地方海岸林再生に向けたマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ種苗生産の飛躍的向上事業	東北林木育種場や関係機関と連携して、津波で被災した東北地方の海岸林再生に向け、関係機関共同でマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ種苗を大量生産するための技術開発を行う。
初雪たけ種菌供給及び特用林産物生産技術支援事業	初雪たけ(青NW1号)の種菌の安定供給を図るとともに、山菜等の特用林産物生産の技術指導等を行う。
あおもり産野生きのこ安全性実証事業	出荷制限がかけられている青森県産野生きのこの中のナラタケ類について放射性物質の測定分析等を行い、安全性を統計的に検証するなど、出荷制限解除に向けた調査研究を行う。
ロングスパン部材等県産材の公共建築物等への利用促進に関する研究	県産材の需要拡大を図るため、公共施設等の大空間を確保するロングスパン部材の研究を行う。
木材加工技術指導事業	県産材の利用拡大を図るため、県内の木材関連業者等へ技術指導などの事業を行う。